

作成番号:0233

=====

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

=====

号数:2024-233

内容:自殺リスクは月曜日に最も高く、元日に増加する

出典:Association of holidays and the day of the week with suicide risk: multicountry, two stage, time series study.

BMJ (Clinical research ed.). 2024 Oct 23;387:e077262. pii: e077262.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39442941/>

これまで、自殺リスクは曜日によって異なることが報告されているが、研究対象地域が限定され、結果の一般化には限界があった。韓国・釜山大学の研究者らが、Multi-City Multi-Country (MCC) Collaborative Research Network のデータベースを用いた解析の結果を、BMJ 誌 2024 年 10 月 23 日号に報告した。

1971 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日における 26 ヶ国 740 地点の自殺のデータを収集、各国の各地点における 1 日当たりの自殺者数を合計して国別の 1 日当たりの自殺者数とし、曜日および 3 つの祝日(元日、クリスマス、その他の国民の祝日)と自殺との関連を解析した。合計 1,701,286 件の自殺が解析に組み込まれた。10 万人当たりの自殺率が高かったのは韓国(26.7)、南アフリカ(24.2)、日本(24.0)、エストニア(22.6)であった。平日(月～金曜日)の自殺リスクは、すべての国で月曜日が最も高く、週末(土～日曜日)の自殺リスクは国によって異なり、北米、アジア、欧州のほとんどの国では平日より低い一方で、中南米、南アフリカ、フィンランドでは平日より高かった。また自殺リスクは、ほとんどの国において元日で顕著に増加することが示された。相対リスクは日本の 0.93(95%CI:0.75～1.14)からチリの 1.93(1.31～2.85)の範囲にわたっていた。一方、クリスマス当日の自殺リスクは国によって異なっていた。その他の国の祝日当日の自殺リスクは、ほとんどの国で減少することが認められた。

ほとんどの国では自殺リスクは月曜日に最も高く、元日に増加するが、週末やクリスマスでは国や地域によって異なることが判明した。

